



2025年3月24日

GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に選定

日本酸素ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：濱田敏彦、以下「NSHD」）はこのたび、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が国内株式の運用を委託している運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に選出されました。当社は2020年2月に初めて選定されて以来5回目の選定であり、今回は3機関の運用機関より高い評価を得ることができました。

本件は、GPIF が委託運用機関に「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」の選定を依頼し、各機関がそれぞれ最大10社を選定するもので、「改善度の高い統合報告書」は当社を含めた93社が選ばれました。

今後とも情報開示の透明性を高めるとともに、ステークホルダーの皆さまにより多くの情報を提供していくことで、NSHDグループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

<ご参考>

GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」
[20250311_integration_report.pdf](#)

NSHD「統合報告書 2024」

[nippon-sanso-holdings-integrated-report_jp-viewing_2024.pdf](#)

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの4つの地域で30超の国と地域をカバーする世界第4位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界120カ国以上にTHERMOSブランド製品を供給しています。1910年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000名以上の従業員を擁する私たちは、「The Gas Professionals」として、「進取と共創。ガスで未来を拓く。」という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社
広報部

03-5788-8513